

第6回大宮区区民会議 会議録

- 1 日 時 平成27年10月22日(木) 14時00分～16時00分
- 2 会 場 大宮区役所1階多目的室
- 3 出席者 21名

(委員) 15名

花俣淳一会長、池上明彦副会長、横山千恵子副会長
井上恵美子委員、井原武志委員、鵜籠雅之委員、倉上智華委員、小高明美委員、
齋藤泰雄委員、諏訪淳嗣委員、高田健委員、田代秀一委員、松岡忠男委員、
村上隆子委員、山本英夫委員

(オブザーバー) 1名

田中(副区長)

(事務局) 3名

細田(コミュニティ課長)
池羽、土井(コミュニティ課)

(コンサルタント) 2名

森、植田((株)社会構想研究所)

4 議 事

- (1) 開会
- (2) 協議事項
①第7期区民会議協議テーマについて
- (3) 閉会

5 議事内容

検討課題の整理について

前回、中間発表をおこない、協議テーマ『大宮の場を育てる』では、大宮の魅力を再発見（再評価）し、大宮のよりよい姿を提案する必要がある、これらについて「恒常的な場を利用して伝えること」が検討課題として挙げられた。協議テーマ『駅を核とした歴史と文化』では、様々な目的で大宮を訪れる人はいるが、その人達はその目的以外でまた大宮に来ようと思えていないとして、「大宮にまた来たいと思えるしかけをつくること」が検討課題として挙げられた。

検討課題の枠組みとして、両テーマの共通事項としては「大宮の魅力を伝える」ということであり、相違点としては伝える対象、『大宮の場を育てる』では「大宮区民に伝える」、『駅を核とした歴史と文化』では「大宮区外の人に伝える」という整理をおこない、先ず、区民に対する大宮の「魅力を共有する（情報の発信・共有）」ことについて協議をおこなうことが了承された。

大宮区の魅力棚卸について

「何世代も住み続けられるポテンシャルのあふれるまち大宮」の実現を目的に『大宮の場を育てる』ためには、まず区民が大宮の魅力を共有することが必要であるという視点から、区民で共有したい（する必要がある）大宮の魅力について、圏域区分別とライフステージ対象別という切り口から2班に分かれて魅力の棚卸をおこなった。

各班の協議では、各区分及び対象別の大宮の魅力と共に、以下のような問題意識が話し合われた。

- 子どもから高齢者まで多世代で集まれるような取組は少ないが、地区運動会や三橋公民館の取組など、すでに多世代交流をおこなっている取組がある。
- 大宮公園（第二・第三公園を含む）や氷川神社では、年間を通して様々なイベントがおこなわれているが、どんなイベントがおこなわれているのか、区民でもなかなか把握できていない。
- 小中学校土曜日・放課後チャレンジスクールや書初めイベントなど、地域の人がボランティアとして参加しており、もっと参加してもらえるように知ってもらいたい。
- 区民ふれあいフェアでは、区内の各地域から様々な出し物が出店しているが、自分の地区の作業が忙しくてどこの地区がどんなことをおこなっているのかわかっていない。

協議終了後、10月31日に開催される区民ふれあいフェアでの、区民会議のコナーを担当する委員の募集が行われた。

次回第7回区民会議は、11月20日（金）午後3時から区役所1階多目的室で開催予定。